

NPO 法人日本医師事務作業補助研究会 北海道支部主催  
**2021 年度第 1 回 北海道支部 会員限定オンラインセミナー**  
**「他院の取り組みにはヒントがいっぱい！」 ～今、知りたいこと～**  
**活動報告**

- ・日時:2021 年 6 月 19 日(土)14:00～16:00
- ・開催方式:ZOOM によるオンライン方式 会場(配信場所):札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル
- ・参加者:9 名

コロナ禍の為、昨年は活動が出来ませんでしたが今年 6 月 19 日に世話人みんなの思いが叶い  
 会員限定のオンラインセミナーを開催することが出来ました。

◆支部世話人による事例発表①

頭頸部外科の医師事務作業補助者になるまで～現在

医療法人 徹仁会 厚別耳鼻咽喉科病院 橋本千朋

事務から医師事務作業補助者に配属された過程でどのような  
 ことを学ぶことができたか、またそれが今現在医師事務作業  
 補助者の業務にどう結びついたか、メリットデメリットなどを  
 発表させていただきました。



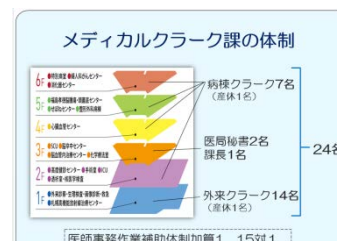
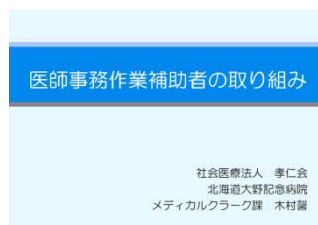
◆支部世話人による事例発表②

医師事務作業補助者の取り組み

社会医療法人 孝仁会 北海道大野記念病院 メディカルクラーク課 木村馨

当支部世話人木村よりメディカルクラーク課の  
 体制や業務内容について発表しました。

1 診察室 1 クラーク配置ということで、ベテランのクラークに  
 なんと 10 科もの診療科を掛け持ちすると聞き驚きました。  
 また、医局秘書の業務内容や大切にしていることなどとても  
 分かりやすく参考になったと思います。



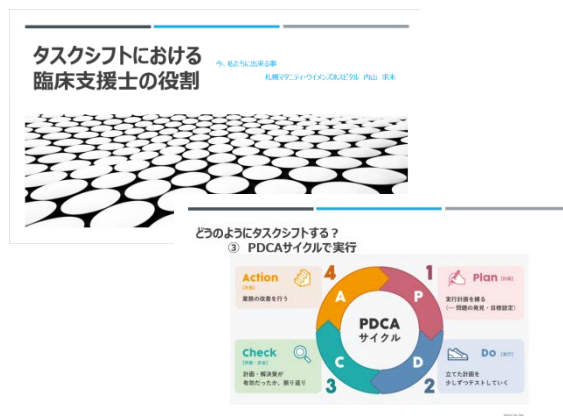
## ◆講演 1

### タスクシフトにおける臨床支援士の役割

札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル 内山求未

当支部、支部長内山より、タスクシフトにおける臨床支援士の役割とのことで、今後臨床支援士が業務をどのようにタスクシフトしていけばよいか、まず何をしたらよいかなど発表しました。

臨床支援士(医師事務作業補助者)として、  
医師だけではなく、チーム医療の架け橋となるようなとても重要な役割だと感じ、  
とても参考になりました。



## ◆質問討論会

ファシリテーター: NPO 法人日本医師事務作業補助者研究会 北海道支部

支部長 内山求未



今回ご参加いただいた皆様より事前に質問を受け付けし、世話人・参加者の皆様と共にどのような取り組みを行っているのか、どのように改善していけばいいかなど、討論しました。

各病院の現状や解決方法など、オンラインだったためか積極的な意見交換が行われ、多くのお話を聞くことができました。

## ◆まとめ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大でなかなか開催することができなかったセミナーですが、今回初めてのZOOMにてオンライン形式の会員限定セミナーを開催することができました。

札幌市外・道外からもご参加くださった方もいました。

今後も、状況によってはこのようなオンライン形式のセミナーが主流になっていくのではないかと感じております。

ZOOM でのオンライン形式ならではの、質問の多さ、話しやすさがあり、交流を深めることができたと思います。

またそのおかげで他院の取り組みを知ることができた貴重な機会となりました。

世話人・参加者の皆様、ありがとうございました。

報告者: 北海道支部 世話人

厚別耳鼻咽喉科病院 橋本千朋